

春秋座美術館

春秋座は芸術大学のなかにある劇場ですから、周囲には美術作品がいっぱい。劇場に入るまでの間を通り抜けるラウンジにも、屋外にも様々な作品が並んでいます。今回は劇場の2階に上がる階段の踊り場にかけてられている作品をご紹介しますが、その階段を上がりきった先の廊下にも、造形大美術工芸学科の先生方の作品がならんでいます。ギャラリーや、美術館でも観ることができる方々の作品ですが、劇場という空間での出会いは、また違った印象を受けるかも知れません。じっくりと鑑賞下さい。



舞台の素



～綱元 つなもと～

舞台の背景や幕などの吊り物を昇降させる綱を、操作する場所です。客席から向かって左、下手そでにずらっと並んでいます。春秋座の綱は全て人の力で上げ下ろしするので、電動と違って遅くも早くも変幻自在にできます。しかし、吊り物の重さと綱元のシズ（重し）を合わせないとバトンが走ってしまうこともあり、大変危険な場所でもあるのです。先日行われた学生の卒業公演の時は、いつ幕が現れたのか気付かないほどゆっくり降ろしたこともありました。裏方さんの苦勞が目に見えます…。

(春秋座スタッフ 中山 彩)

チケット購入方法

チケットをお求めの方は、京都造形芸術大学人間館A棟3F、NA314〈京都芸術劇場春秋座 劇場企画運営室〉へお越しください。(エレベーターを3階で降りて、左手廊下つきあたりになります。)お電話でのご予約も承ります。電話予約の場合、ご入金は窓口で直接お支払いいただくか、もしくは郵便局からの口座振替をご案内致します。窓口へお越しの場合も、電話予約の場合も、必ず会員番号をお知らせください。また、学生・ユース(25歳以下の方) 価格でチケットをご購入の場合、学生証や、年齢を確認できるものが必要となります。

編集後記

早いもので、もう11月。今年最後のこよみです。学生たちも、4年生はもうそろそろ卒業制作・卒業公演の準備に追われる頃。春秋座でも舞台芸術学科の卒業公演が行われます。先日もホワイエでのプレ公演がありました。いつものホワイエがライトで照らされて、強い光と暗い影の部分ができたり、普段のざわざわした響きとは全く違う音でみたまされたりして、不思議な感覚になりました。

京都芸術劇場(春秋座、studio21)のホームページが新しくなりました。公演の詳細や劇場のスケジュール一覧、施設紹介(客席図など)、アクセス、舞台芸術研究センターの活動内容など情報が盛りだくさんですので、ぜひ一度ご覧ください。

新しいホームページ・アドレスは <http://www.k-pac.org> です。

編集	京都芸術劇場 企画運営室
ディレクション	西川真由実
デザイン	宮崎雄太・藤原奈津美
発行日	2003年11月

京都芸術劇場春秋座友の会季刊誌

春秋

KOYOMI

SINCE 2002 AUGUST

第6号

2003年11.12月

2004年1月

特集

スポレート実験オペラ劇場Ⅱ

ヴェルディ作曲 歌劇「椿姫」

11月23日(日) 14:00開演



京都芸術劇場
春秋座

LA TRAVIATA

イタリアの古都スポレートから、オペラコンクールの入賞者たちが来日するスポレート実験オペラ劇場公演。今年お届けするのは、歌劇「椿姫」です。<スポレート実験オペラ劇場>は、1947年イタリア国家とウンブリア州の援助によって設立された、新人オペラ歌手育成に主眼をおいたカンパニーです。毎年3月、「若きオペラ歌手のためのヨーロッパ声楽コンクール」が行われ、入賞者が決定すると、その顔ぶれに声楽的にふさわしいオペラ作品をいくつか選び、約半年の稽古の後、イタリア国内の諸都市で上演しています。これまでに、錚々たる面々がこのコンクールで入賞を果たし、スター歌手となったことで、このコンクールそのものが今では新人オペラ歌手の登竜門とされ、世界有数の名声と権威を誇っています。

スポレート・コンクール出身の名歌手たち



フランコ・コレリ
(テノール)



アンナ・モッホ
(ソプラノ)



ガブリエラ・トゥッチ
(ソプラノ)



ルジェッタ・ライモンディ
(バス)



ルチア・アルベルティ
(ソプラノ)

「1947-1996 50 Anni
TEATRO LIRICO SPERIMENTALE
"A. BELLINI DI SPOLETO"」より

「春秋座オペラ」によせて

私は、オペラの中でもイタリア・オペラ、とりわけベルリーニ、ドニゼッティ、ヴェルディ、プッチーニなどのベルカント・オペラが大好きだ。それは理屈抜きに感動や驚きを与え、心地よくしてくれるからである。魚沼産コシヒカリの新米のようにおいしいものはおいしい。柔道の田村亮子のように強いものは強いといった明快さがたまらない。人間の声がこれほどまでに美しく、これほどまでによく通るものかと驚く。人間の声そのものが恍惚感や感動を与えてくれるのである。声量がなく声が聞こえてこない歌手は問題外。歌の巧拙、声質を問うまでもなく失格である。そういう意味では大変スポーツ的だともいえる。記録でふるい落とされた後、力のあるものだけが競い合うハイレベルな戦いのような緊張感がオペラにはある。

私がオペラの虜になったのはフェルッチョ・タリアヴィーニの甘い声、マリオ・デル・モナコのトランペットのような迫力のある美声、マリア・カラスの奥深い妖艶な声、レナータ・テバルディの端正で安定した声などのせいである。以来、私は魅力のある歌手を追い求めてきた。それ

は速くて強い名馬を追い求めてきた気持ちといささかも違わない。歌舞伎もそうである。やはり個性豊かな魅力あるスターが出てこないことには面白くない。新しい実力あるスーパー・スターの誕生がいつの世でも期待されている。野球だって同じであろう。スポレート実験オペラ劇場の楽しみはそこにある。高校野球の名選手がかなりの確率でプロ野球のスターになるように、スポレートの入賞者はオペラ界の期待の星なのだ。今は名前が知られていなくとも、数年後は大スターというケースが待っている。しかも、今年は「椿姫」。ベルカント・オペラの名作である。「乾杯の歌」「ああそはかの人か～花より花へ」「わが沸き立つ情熱を」プロヴェンスの海と陸」「パリを離れて」といった名アリアや重唱がどのように歌われるのか。パオロ・バイオッコが実験オペラとしてどう演出してくれるのか。そして迎え撃つ若き日本のアーティストたちの実力の程は？興味津々の春秋座オペラである。

プロデューサー 橋 市郎

京都芸術劇場 春秋座 studio21 2003年11月～2004年3月 公演予定表

日	催し物	開演時間	内容	会場	問合せ先	チケット発売(075-791-8240) ()内は会員前売料金
◇11月						
11/23 日	スポレート実験オペラ劇場Ⅱ ヴェルディ作曲 歌劇「椿姫」	14:00	オペラ歌手の登竜門と言われるイタリアのスポレート実験オペラ劇場による上演	春秋座	京都造形芸術大学 劇場企画運営室	発売中 1階 7,000円(6,300円) 2階 5,000円(4,500円)
11/24 月	ミュージカル「つばめ」	14:00 18:30	国と国、2つの愛に翻弄される女性の物語 脚本・演出:ジェームス三木	春秋座	わらび座関西事務所 TEL/06-6864-9600	発売中 前売 一般4,500円(4,000円) 当日 5,000円 残席わずか
11/30 日	第5回雅楽演奏会 ～天空の楽人たち 舞い奏でる～	16:00	【管絃の部】黄鐘調音取 海青楽 美作(催馬楽) 西王楽 【舞楽の部】 桃李花・蘇莫者(序、破) 延喜楽	春秋座	音輪会 075-641-1704	発売中 一般 前売3,000円(2,700円) 一般 当日3,500円 学生1,500円

◇12月 *ユースは学生を含む25歳以下

12/6 土	舞台芸術研究センター 上演実験シリーズvol.11 現代能楽集 I 「AOI/KOMACHI」	14:00 19:00	能「葵上」「卒塔婆小町」を基にした現代劇二本立て公演	スタジオ21	京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター TEL/075-791-8240	完売イタシマシタ。
12/7 日	舞台芸術研究センター 上演実験シリーズvol.12 大駱駝艦・天賦典式 「魂戯れ たまざれ」	14:00	麻赤児率いる舞踏グループ「大駱駝艦」が新作を発表 振舞・演出・美術:麻 赤児	春秋座	京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター TEL/075-791-8240	発売中 前売 一般4,000円(3,500円) ユース 2,500円 当日はそれぞれ500円増し
12/10 水	ANODE	19:00	大友良英による即興プロジェクト (春秋座舞台上舞台にて)	春秋座	京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター TEL/075-791-8240	発売中 前売一般3,000円 学生2,500円 当日一般3,500円 学生3,000円
12/21 日	高校演劇コンクール近畿大会優秀校 第3回春秋座招待公演 「演じる高校生」	14:00	高校演劇コンクール近畿大会の優秀校2校を招待しての公演	春秋座	劇場企画運営室	発売中 一般 1,500円(1,300円) 学生 500円 全席自由
12/23 火	スーパー狂言 「王様と恐竜」	14:30	スーパー狂言「王様と恐竜」の上演	春秋座	上京ワークハウス TEL/075-451-3004	発売中 A席は完売、B席残席わずか 前売 A席5,000円(4,500円) B席4,000円(3,600円)

◇2004年1月 *ユースは学生を含む25歳以下

1/16 金 1/17 土	イロドリ filter～音の舞台美術 × replicant～光と身体の実験	☆filter-replicant 17:30～ ☆replicant パフォーマンス 19:00～	劇場空間の導入部分である『ホワイエ』という空間を共有し、Lighting-菊池悠子、Sound-土井新二郎が空間を生かした異なる二作品を唯一無二の光空間、音空間として展開する舞台インスタレーション。(卒業公演)	春秋座	京都造形芸術大学 映像・舞台芸術学科 TEL/075-791-9353 090-8530-9960 (城島)	無料
1/18 日	高田和子 SANGEN SPACE vol.1 三弦とマリンパの出会い	15:00	高田和子による三弦の新たな可能性を開いた代表的な作品の再演 ゲスト:通崎睦美(マリンパ)	春秋座	京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター TEL/075-791-8240	11/14前売開始 前売2,500円 ユース2,000円 当日はそれぞれ500円増し

◇3月 *ユースは学生を含む25歳以下

3/1 月	舞台芸術研究センター 上演実験シリーズvol.13 ポール・クローデルの詩による創作能 「内濠十二景、あるいは 《二重の影》」	19:00	ポール・クローデルの詩を素材にした、親世榮夫振付け・主演の新作能 親世榮夫(シテ) 梅若晋矢(ツレ) 野村萬斎(ワキ)	春秋座	京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター TEL/075-791-8240	12/2前売開始 *春秋座友の会先行予約* 12/1(月)10:00～17:00 前売 一般4,500円(4,000円) ユース2,500円 当日 一般5,000円 ユース3,000円
-------	---	-------	--	-----	--	---

<公演チケットのお申込みは> 劇場企画運営室 TEL/075-791-8240

演劇

現代能楽集 I 『AOI/KOMACHI』

12月6日(土) 14:00・19:00開演
7日(日) 14:00開演

一般前売 5,000円
学生&ユース前売 3,000円



謡曲『葵上』と『卒塔婆小町』が、実験性にあふれ、かつ娯楽性の高い現代演劇としてリメイクされます。『AOI』の舞台は、美容院。光源氏はカリスマ美容師として登場します。宝塚出身の麻実れいが六条、森ほさちが葵を演じるほか、『KOMACHI』では、舞踏家・笠井徹が小町として特別出演。倒錯した愛の世界が暴力的に繰り広げられます。京都造形芸術大学・映像舞台芸術学科の川村毅が、三島由紀夫の『近代能楽集』を超える新たな能の現代化に挑む一品。要注目です！

作・演出：川村毅

出演：
『AOI』
麻実れい／森ほさち／長谷川博己／蟹江一平

『KOMACHI』
手塚とおる／福士恵二／笠井徹

*12月6日(土)2:00pmの回終了後、アフタートークを開催します。

*大変申し訳ありませんが本公演の一般チケットは完売いたしました。

コンサート 11月14日前売開始

高田和子 SANGEN SPACE vol.1
「三絃とマリンバの出会い」

平成16年1月18日(日)
15:00開演

全自由席
一般前売 2,500円 当日 3,000円
学生&ユース前売 2,000円 当日 2,500円

※未就学児童の入場はお断りします。



舞台芸術研究センターが企画する音楽企画の第三弾。三絃(三味線)の新たな可能性を開いた代表的な作品の再演と、未来の姿を模索する実験的試みを、毎回異なったゲストと共に追求するコンサートシリーズです。第一回はゲストにマリンバ奏者・通崎睦美を迎えてお届けします。

今回のコンサートでは、現代音楽の第一人者、間宮芳生や一柳慧の作品を三絃で演奏するほか、港大尋、野村誠、野田雅巳、鶴見幸代など若手音楽家の作品を三絃とマリンバでアレンジ。そのほかにも、マリンバのソロ演奏や三絃とマリンバのための新作発表(神田佳子作曲)もあり、大変盛りだくさんの内容になっています。普段あまり聴くことのない伝統楽器の

新たな響きをお楽しみください。また、当日会場内ではアンティーク着物のコレクターとしても知られる通崎睦美の着物展示も行われます。

「ふだんはクールで端正なマリンバを演奏する通崎さんが、なぜか三絃と共演すると思いがけない一面を見せてくれる。もうひとつの仕事=古き良き時代の着物に、現代の感性で新しい命を吹き込む通崎さんと、重い伝統を背負う三絃に、未踏の領域を開こうとする私には、どこかで響きあうものがあるのかもしれない。」(高田和子)

出演：高田和子(三絃、うた)
通崎睦美(マリンバ)

能楽 12月2日前売開始
※12月1日10時から17時まで会員先行予約

ポール・クロードルの詩による創作能
『内濠十二景、あるいは「二重の影」』

平成16年3月1日(月) 19:00開演

一般前売 4,500円(会員 4,000円)
当日 5,000円

学生&ユース前売 2,500円、当日 3,000円

※未就学児童のご入場はお断りします。



20世紀ヨーロッパ最大の劇詩人であり、大正年間に駐日大使でもあったポール・クロードル(1868~1955)。そのクロードルの詩を素材に、渡邊守章が構成・台本・演出、観世流シテ方の観世榮夫が節付・振付・主演した新作能です。この作品は2001年フランスで開催された国際クロードル会議で世界初演され大好評を博したもので、今回は新たに「三番叟を舞う若者」(ワキ)に野村萬斎を迎え、改訂版として上演致します。

ポール・クロードルは、大正年間に東京へ赴任した時期、日本の伝統文化に触発されて、

優れた日本文化論を残したほか、多くの詩篇・エッセーを書きました。その一つが、皇居内濠の散策を題材にとり、自らの詩想や詩論を喚起した詩篇「内濠十二景」です。この詩篇と、彼の集大成的長編戯曲である『繻子の靴』の一部をモチーフに、クロードルが強く惹かれた能の発想と技法を用いながら、複式夢幻能の新しい形を追求する意欲作です。

作・演出：渡邊守章

出演：観世榮夫(シテ)、梅若晋矢(ツレ)、野村萬斎(ワキ)

京都芸術劇場(春秋座)座席表

花道使用時	
1階	531席
2階	204席
合計	735席
	(-117席)

オーケストラボックス使用時
-102席

